広報 ハートフルケア たてしな

第２１号　　発行日 2023.7.10

笑顔が素敵な山浦様

社会福祉法人
ハートフルケア
たてしな

北佐久郡立科町大字芦田 720−1

TEL0267-56-1955　FAX0267-56-3665

Mail　info@hc-tateshina.jp

URL http://www.hc-tateshina.jp

介護老人福祉施設すずらん
デイサービスセンターほほえみ
デイサービスセンターやすらぎ
ヘルパーステーションたてしな
居宅介護支援事業所たてしな
ｸﾞﾙｰﾌﾟﾎｰﾑ・ﾃﾞｲｻｰﾋﾞｽだんらん
障がい者相談支援事業所たてしな
有料老人ホーム徳花苑
施設内保育所キラキラハウス

新理事長就任のご挨拶

土屋　春江

日頃より施設ご利用者様をはじめご家族様、地域の皆様、その他多くの方々に温かいご支援とご協力をいただき、心よりお礼と感謝を申し上げます。

この度、令和５年６月24日付けで森澤光則理事長の後任として、社会福祉法人　ハートフルケアたてしなの理事長に就任しました土屋春江と申します。

日本は今、超高齢化社会を迎え、社会保障とりわけ介護保険制度は多事多難な時代を迎えています。制度存続の為、ご利用者様への負担は増え続け、一方支える介護職員の処遇改善もされてはきていますが、担い手不足は一層深刻な問題となっています。

多くの不安を抱えながらも、ハートフルたてしなは「地域の人が安心して利用できる法人でありたい」を常に理念と羅針盤と捉え迷うことなく、ご利用者様の人生の幸せを支え、重ねて地域社会のためにより一層頼られ続ける法人を目指して参りたいと思います。

私は理事長としての職責の重大さに戸惑っておりますが、病院・介護施設等の数十年の勤務、そして12年間の議員生活、又、社会福祉法人の理事の経験を生かし、職員一丸となって、ご利用者様、ご家族様の思いを大切にし、地域住民の皆様からも信頼される法人となるよう日々努力して参りますので、ご指導ご鞭撻のほど宜しく御願い申し上げます。

理事・監事の選任

６月24日に開催された評議会で、任期満了に伴う理事・監事が選任され、同日開催した理事会で理事長、常務理事が決まりました。

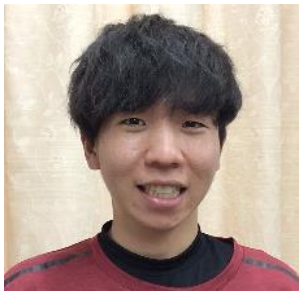
理事長	土屋　春江
常務理事	児玉　武男
理事	浦野　喜芳
理事	大島　明美
理事	今井　静江
理事	永井　勇

退任した理事・監事

理事長	森澤　光則
常務理事	依田　修 （令和５年３月31日付け）
監事	斎藤　武志
監事	倉島　泰治

新職員紹介

令和５年の新年度を迎え、新たに入職した５名の皆さんを紹介します。



①　浅井充哉
②　サッカー観戦ゲーム・温泉
③　甘いもの
④　慣れない環境ですが、少しずつ皆さんの力になれるように頑張りたいと思います
⑤　小諸市
⑥　ほほえみ

①　名前（ニックネーム）
②　趣味や得意なこと
③　好きなもの　④　抱負
⑤　出身地　⑥　配属先

①　成澤智子・智ちゃん
②　音楽鑑賞・テレビ鑑賞・シッピング
③　猫・ハンバーグ
④初めての業種でわからないことが多く、とまどう事もありますが、少しでもお役に立てるように頑張ります。
⑤　愛知県　⑥　総務

①　菊原達也
②　温泉巡り・バレーボール
③　アップルパイ
④　新人らしく明るく元気に頑張っていきたいです‼
⑥　立科町　⑦　すずらん

①　柳沢あゆみ
②　製菓・ドライブ
③　甘いもの・小動物
④　介護福祉士の資格を充分に活かし、利用者様それぞれに合った介助、介護をしたいと思います。
⑤　佐久市　布施　⑥　やすらぎ

①　布下幸子（さちこ）
②　植物が育つのを見るのが好き
③　パン・麺類
④　体調を崩さず元気に過ごす！
⑤　御牧ケ原
⑥　居宅

すずらん

4月、暖かさが増し、いよいよ春が近づいてきたのを感じる季節、すずらんの入居者様の会話から「お花見に行きたいね」と声が聞こえてきました。

4月2日から13日の間で、立科町内は権現山・茂田井・正明寺・蟹窪・津金寺、遠くは東御市の島川原の中から、ユニットごとに日程とコースを選びお花見ドライブに出かけました。なるべく入居者様の自宅に近い場所を選んだところ、桜の咲いている場所や道順、地域名を教えて下さる方も。

同行した技能実習生はミャンマーには無い日本の桜の素晴らしさを初めて見て入居者様と一緒に感動していました。車から降りて桜の下で写真を撮ったり、お茶を飲んだり、様々な場所の桜を楽しむことができました。

満開の桜を見て「ま～見事だね」「綺麗だ。私は幸せ者だ」「また行きたい」など多くの喜びの声が聞かれ、久しぶりの外出でリフレッシュできた様子でした。これからも入居者様と共に職員も楽しみ、たくさんの思い出を作っていきたいです。

ほほえみ

ほほえみでは毎年、誕生日の利用者様がいらっしゃる月に、誕生日会を行っています。昨年は、お昼ご飯を特別メニューにして誕生日会を行っていましたが、今年はお弁当をテイクアウトしてお祝いしています。お昼の時間になると、誕生日の利用者様を別のお部屋に招待して、職員と一緒にお弁当を召し上がっていただきます。いつもと違った雰囲気に利用者様は「とても特別な感じがして嬉しい」と喜んでいらっしゃいました。

また、ご本人様の写真を写真立てと一緒にプレゼントしています。利用者様には、これからも元気にデイサービスを利用していただき、誕生日をお祝していきたいと思います。

やすらぎ

デイサービスやすらぎ農園では、今年度利用者様よりいただいたレタス９株とじゃがいも９株の他に、きゅうり３株とトマト４株を植えました。昨年、トマトは沢山収穫出来た一方で、きゅうりは残念ながら枯れてしまいましたが、今のところ順調に育っています。トマトは花が咲き始め、いくつか小さな実が実っています。野菜作りの御意見番として利用者のおひとりに畑の面倒を見ていただいています。４種の野菜の成長と収穫時期が楽しみです。

だんらん

今年の桜の開花は例年より大分早かった為に予定日よりずれてしましましたが、タイミング良く二日間連続で花見が出来ました。

一日目は車で権現山周辺を始めとし、茂田井や山部など町内絶景スポット巡りを行いました。

二日目は毎月来て頂いているＯＢむつみ会による散歩ボランティアの方と手をつないで、施設周辺を散歩しました。太鼓道場から稲荷神社まで、じっくりと花を間近で見ながら散歩が出来ました。

両日共に感動した様子で、満開な桜に匹敵する程の利用者様の笑顔を見ることが出来ました。

有料　徳花苑

昨年より入居者様も増え、５月中旬女神湖方面に新緑ドライブに行って来ました。好天に恵まれ偶然にも湖畔でウエディングフォトを撮影中のカップルに遭遇しました。車を走らせ「おめでとう」と手を振ると、「ありがとう」と手を振り返してくれたエピソードがありました。新緑眩しい湖畔巡りと、風に揺られさざ波立つ湖面を見ながらのドライブは、コロナ禍で外出を制限されていた入居者様より感激の声を沢山頂きました。湖畔で記念撮影後、車で見晴らしのいい高台まで登り、高原の山の端を眺望し帰路につきました。「今日は行けてよ」の声に職員も、こんなに喜んで頂けるならばドライブの回数を増やしていこうと思います。

ヘルパー

ヘルパーステーションたてしなは介護保険サービス・障がい福祉サービスの生活支援・身体介護のサービスを行っています。

介護認定を受けていないけど日々の日常生活が少し困難になってきたなと思われる方、介護保険以外に自費でのサービスを行っています。６５歳以上の方、もしくは理事長の承諾を得られた方が対象です。

定期的に訪問してサービスを受けるのではなく【時々掃除してほしい】【たまには夕飯の為の調理を休んで、誰かに作ってほしい】【買い物や薬取りをしてほしい】【ご家族が留守の時の見守りや一緒に家事を行なう】等ご相談にのります。ヘルパーステーションの資格のある職員が訪問させて頂きます。

居宅たてしな

当事業所ではふれあい講座を立科町内の高齢者の皆さんを対象に開催しています。ふれあい講座には実際にハートフルケアたてしなにお越しいただき、パワーリハビリのマシンを体験していただく『体験型』、各地区の会等に参加させていただく『出前型』の二つがあります。今回は４月１５日に藤沢地区の寿会に出向き、開催した出前型講座の内容を簡単に紹介させていただきます。

まずは、介護予防についてのお話をさせていただき、その後に予防体操を実際に体験していただきました。今回は椅子に座って行う運動を主体にご自身のペースで無理をしないよう実施していただきました。ご近所の顔なじみの方と一緒に気軽に取り組めることがこの講座のメリットでもあります。講座を楽しむポイントは「会話」です。隣の方と身近な話題で会話をしながら、肩の力を抜いて取り組むことで自然と笑顔が広がります。講師の私たちも、参加された方のご意見をお聞きし、より充実した講座になるよう心がけています。介護予防を身近なこととして、地域の中で共有していけるよう、今後もふれあい講座を継続していきたいと思っています。

ふれあい講座を開催してほしいという方、『居宅介護支援事業所たてしな』☎０２６７（５６）３１００までお気軽にご相談ください。

第 11 期　資金収支計算書の要旨

（自）令和 4 年 4 月 1 日　（至）令和 5 年 3 月 31 日　　（単位：千円）

科目	本年度	前年度	比較増減
①　事業活動収入計	649,201	679,163	△29,962
②　事業活動支出計	598,646	570,476	28,170
A. 事業活動資金収支差額（①－②）	**50,555**	**108,687**	**△58,132**
③　施設整備等収入計	50	0	50
④　施設整備等支出計	81,921	150,067	△68,146
B. 施設整備等資金収支差額（③－④）	**△81,871**	**△150,067**	**68,196**
⑤　積立資産取崩収入計	0	86,170	△86,170
⑥　過年度損益修正・長期貸付・出資金・積立資産支出計	920	22,302	△21,382
C. その他の活動資金収支差額（⑤－⑥）	**△920**	**63,868**	**△64,788**
資金収支差額合計（A+B+C）	**△32,236**	**22,488**	**△54,724**

第 11 期　貸借対照表の要旨

（令和 5 年 3 月 31 日時点）　　（単位：千円）

【資産の部】	本年度末	前年度末	【負債の部】	本年度末	前年度末
①　流動資産	**373,806**	**465,565**	**流動負債**	**103,660**	**167,755**
現金預金	278,319	357,935	**固定負債**	**1,438,065**	**1,497,061**
事業未収金	92,700	105,609	**③　負債の部合計**	**1,541,725**	**1,664,816**
その他の流動資産	2,787	2,021	【純資産の部】	本年度末	前年度末
②　固定資産	**2,126,888**	**2,276,525**	**基本金**	**200,000**	**200,000**
基本財産	2,052,391	2,203,305	**国庫補助金等特別積立金**	**1,025,242**	**1,078,496**
（土地）	(225,067)	(225,068)	**次期繰越活動差額**	**△266,273**	**△201,222**
（建物）	(1,827,323)	(1,978,237)	（うち当期活動差額）	(△65,051)	(△12,459)
その他の固定資産	74,497	73,220	**④　純資産の部合計**	**958,969**	**1,077,274**
（内、施設整備修繕積立、備品購入積立資産）	(0) (0)	(0) (0)			
資産の部合計（①＋②）	**2,500,694**	**2,742,090**	**負債及び純資産の部合計（③＋④）**	**2,500,694**	**2,742,090**

※現金預金が前年度より約 8,000 万円減少していますが、有料老人ホーム建築支払い費用によるものです。

避難訓練

やすらぎ・だんらん・有料老人ホーム徳花苑・あんしん共同住宅がある西エリアで6月17日に、すずらん・ほほえみ・居宅・ヘルパー・本部がある東エリアでは7月上旬に火災を想定した避難訓練が予定されています。

また、施設内の消火器の場所は全員が把握していますが、「敷地外の近くの消火栓ボックスの場所を確認したほうがいいのではないか」との意見があり、訓練終了後に職員が確認しました。有事の際は、消防署や消防団の方に消火をお願いするかと思いますが、あらゆる角度から想定し備えていくことが必要だと思います。

表紙の題字より

山浦保子様は五人兄弟の末娘として立科町宇山で育ち、地元でご結婚され農業と養蚕をされてきました。子育ても苦労され、よく息子様のご心配をされております。

今回題字をお願いすると「わかった。どう書けばいい？」と快諾して下さり「報の字が難しいな」と古新聞に何度も練習して書いてくださいました。

昔から手先が器用で几帳面であり、手芸や箱折りをされていたとの事。習字も得意で、とてもきれいに書かれています。読書がお好きで、毎晩新聞や雑誌を読まれてから就寝されています。クロスワードパズルが趣味であり、今でも新聞にあると、じっくりご覧になられています、職員と一緒に挑戦し出来たときは「わー出来たよ」と嬉しそうでした。また散歩もお好きで、よくご近所さんに挨拶されていたそうです。だんらんでも外に出る時は、身だしなみを整え「どこにいくの？」と楽しそうにされ、道端のお花をご覧になると「きれいに咲いてるね」と話しながら歩かれています。

多趣味であり、いつまでも元気でい

ご寄付

卵・タラの芽・古新聞・衣類・灯油２０ℓ・乳酸菌飲料　ありがとうございました

編集後記

県内で猟銃を使った凄惨な事件があり、驚いた方も多かったと思います。事件の全容はさておき「自分が（一人）ぼっち」だと感じていた事が一つの大きな要因だったようです。人と顔を見て繋がる方法と、ネット上で繋がる方法など、色々な手段がある現代ですが、私達は互いに顔を見て、手が繋がれ距離に居る事が多い仕事です。しかし、近い距離に居るだけでは、他者と繋がる事が出来ているとは言えないと思います。様々な方法で頻繁にコミュニケーションをとり、存在を認め合う事。本人が心地良い居場所があると感じられる事が大切ではないでしょうか。

利用様が「一人ぼっち」と思わないように、当法人目標の「手と手　心と心を繋ぎ…（略）」が少しずつでも実現していくことが大切だと思います。今回の号が発刊される頃には、暑い日が多くなっていることでしょう。毎年繰り返し、「猛暑」「百年に一度の〇〇…」のフレーズがニュースで聞かれますが暑い夏を元気に乗り切りましょう。

広報委員　永原